



## GPS/JIPS 安全性要約書

### 1. 製品名 (PRODUCT NAME)

PR1501

### 2. 製品の概要 (GENERAL STATEMENT)

PR1501は、アルキルフェノール系フェノール樹脂で、ゴムの樹脂添加剤や絶縁ワニス、塗料の改質剤として利用されています。この製品には人体に有害な成分が含まれており、皮膚に触れると有害な可能性があります。また、高濃度または長期間のばく露により、生殖能又は胎児への悪影響を及ぼすおそれや、授乳中の子に害を与えるおそれがあります。そのため、取扱いには十分な注意が必要です。

加工などで粉塵が発生する場合は、全体換気装置を設置し、必要に応じて局所排気装置を設置して作業場の浮遊粉塵濃度を低く保ってください。粉塵の吸入や眼、皮膚との接触を避けるために、適切な保護具を着用してください。妊娠中の女性へのばく露は避けてください。

また、水生生物に対する毒性が示唆されているため、環境への影響を最小化するために、漏えい防止対策を講じてください。

### 3. 化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
化学名又は一般名	フェノール樹脂
製品名	PR1501
出典・備考	株式会社レゾナック発行の SDS 第 3 項

#### 組成

化学名	濃度 (%)	化学式等	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
フェノール樹脂	98±1	-	(7)-922	-	26335-33-1
p-オクチルフェノール	2.0	C <sub>8</sub> H <sub>17</sub> C <sub>6</sub> H <sub>4</sub> OH	(3)-503	既存化学物質	140-66-9
トルエン	0.3	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> CH <sub>3</sub>	(3)-2	既存化学物質	108-88-3

### 4. 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

主な用途	ゴム部品(ウェザーストリップ)、塗料等
------	---------------------

### 5. 物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

本製品は淡黄色の粒状の固体です。通常は安定していますが、強い酸化剤と接触すると化学反応を引き起こす可能性があります。また、燃焼時には一酸化炭素などの有毒なガスが発生する恐れがあるため、取扱いには十分注意してください。本製品は直射日光や高温を避け、涼しく乾燥した場所で保管してください。

物理状態	粒状固体
色	淡黄色
臭い	僅かな刺激臭
融点/沸点	データなし / データなし
相対密度	1.05±0.02(比重、25°C) 0.87(トルエン)
溶解度	水に不溶 溶けない(トルエン)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.69(トルエン)
融点/凝固点	-95°C(トルエン)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	111°C(トルエン)
引火点	4°C(トルエン)
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	1.1～7.1vol%(トルエン)
蒸気圧	3.8kPa(25°C)(トルエン)
相対ガス密度	3.1(トルエン)
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第9,10項

## 6. ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

危険有害性項目	GHSによる分類結果および評価コメント
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	区分4 皮膚に接触すると有害
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない(非該当)
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分1A 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第2,11項
<p>・GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 世界的に統一されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報をラベルで表示し、安全データシートを提供したりするシステムです。</p> <p>・区分に該当しない(非該当): GHSで定義される物理的性質に該当しないため、当該区分での分類の対象となっていません。</p> <p>・区分に該当しない: GHS分類を行うのに十分な情報が得られており、分類を行った結果、GHSで規定するいずれの区分にも該当しないと考えられます。</p> <p>・分類できない: 分類を確定するための十分に信頼性のあるデータがなく、分類できません。</p>	

## 7. 環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

危険有害性項目	GHSによる分類結果および評価コメント
水生環境有害性 短期(急性)	区分2 水生生物に毒性 (毒性未知成分 約98%)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (毒性未知成分 約98%)
オゾン層への有害性	分類できない
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第2,12項

環境中の運命・動態	
土壤中の移動性	情報なし
残留性・分解性	p-オクチルフェノール 急速分解性がない。[分解度(BOD)] 0%、既存化学物質安全性点検において、難分解性と判定されている。 トルエン 急速分解性がある。[分解度(BOD)] 123%、既存化学物質安全性点検において、良分解性と判定されている。
生体蓄積性	p-オクチルフェノール 既存化学物質安全性点検において、低濃縮性と判定されている。 トルエン 生体蓄積性が低いと推定される。
PBT/vPvBの結論	情報が不十分で判断できない。
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第12項

## 8. ばく露 (EXPOSURE)

詳細	ばく露の可能性
作業員ばく露	閉鎖系バッチでの合成や調合作業中に、メンテナンス、サンプリング、装置故障などが発生した場合、作業員が経皮や吸入によってばく露する可能性があります (PROC3)。
消費者ばく露	当社製品は、一般消費者が直接使用することはありません。
環境ばく露	熱硬化性樹脂やゴム製造、重合プロセスで使用される化学物質 (架橋剤、硬化剤) は、主に大気中に排出される可能性があります (ERC6d)。
注意事項	他の用途におけるばく露の可能性がある場合、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施して下さい。

## 9. 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

推奨するリスク管理措置により、8 項のばく露シナリオによる作業員、消費者および環境に対するリスクは、最小化可能と考えられます。

詳細	推奨するリスク管理措置
作業員	<p>技術的対策・局所排気・全体換気： 粉塵が発生する作業場では、全体換気装置に加えて、状況に応じて局所排気装置を設置し、作業場の粉塵濃度を低く保つようにしてください。粉塵の発生自体を抑制することが重要です。粉塵と空気が混合すると爆発する可能性があるため、特に注意が必要です。粉塵の吸入や、眼や皮膚との接触を避けるために、作業時には適切な保護具を着用してください。妊娠中の女性への粉塵のばく露は避けてください。経皮的に吸収される可能性があるため、取扱いには十分注意が必要です。また、作業環境許容濃度の勧告値が設定されている場合は、その値を下回る環境濃度となるよう管理・制御してください。</p> <p>許容濃度： 当該製品については、以下の管理濃度などが設定されています。これらの基準値を下回るように管理・制御を行ってください。</p> <p>トルエン： 管理濃度：20ppm 日本産業衛生学会の勧告値：50ppm (皮膚吸収あり) ACGIH (アメリカ産業衛生専門家会議) のTLV-TWA (時間加重平均値)：20ppm</p>

	<p>第2種粉塵(ベークライト):  吸入性粉塵:1mg/m<sup>3</sup>  総粉塵:4mg/m<sup>3</sup>  吸引性粉じん(平均粒子径100μm):  ACGIHのTLV-TWA:10mg/m<sup>3</sup>  吸入性粉じん(平均粒子径4μm、不溶性または難溶性粒子):  ACGIHのTLV-TWA:3mg/m<sup>3</sup></p> <p>保護具:  作業の際は、以下の適切な保護具を着用してください:  呼吸用保護具:防塵マスク、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器など  手の保護具:不浸透性の手袋  眼、顔面の保護具:保護眼鏡および防災面  皮膚及び身体の保護具:不浸透性の保護衣、保護長靴、前掛け</p> <p>注意事項:  作業責任者は、作業者に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法などの教育をして下さい。</p>
消費者	当社製品は、一般消費者にて直接使用されることはありません。
環境	環境に悪影響を与えないよう、河川や下水に直接流したり、環境中に放出したりしないでください。
特記事項(漏出時の緊急措置など)	<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:  回収作業を行う際は、粉塵が飛散し、呼吸器や眼、皮膚に悪影響を及ぼす可能性があります。そのため、防塵マスク、保護メガネ、手袋などの保護具を必ず着用し、粉塵が飛散してくる風下側での作業は避けてください。</p> <p>環境に対する注意事項:  粉塵が周囲に拡散しないよう、適切な封じ込めを行い、大気や土壌、水系への流出を防いでください。少量の粉塵は飛散しないように注意しながら、ほうきで掃き集め、多量の場合はシートで覆い、掃除機や集じん装置で吸引するか、水を散布して泥状にしてシャベル等で回収してください。火災の危険性があるため、火気厳禁とし、消火用機材(粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡、水噴霧)を準備してください。万が一火災が発生した場合は、周囲への延焼を防ぎ、安全な場所に移動可能な容器を移してください。消火作業を行う際は、必ず呼吸器を着用し、風上から作業してください。</p>
注意事項	通常での取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、株式会社レゾナック発行のSDSの4,5,6,7,8,13,14項を参照して下さい。

## 10. 政府機関のレビュー状況 (STATE AGENCY REVIEW)


国際機関、各国当局によるレビュー	
IPCS (国際化学物質安全性計画)	国際化学物質安全性カード トルエン <a href="https://chemicalsafety.ilo.org/dyn/icsc/showcard.display?p_lang=j&amp;p_card_id=0078&amp;p_version=2">https://chemicalsafety.ilo.org/dyn/icsc/showcard.display?p_lang=j&amp;p_card_id=0078&amp;p_version=2</a>
OECD (経済協力開発機構)	高生産量化学物質(HPV chemicals)点検計画 p-オクチルフェノール <a href="https://hpvchemicals.oecd.org/UI/SIDS_Details.aspx?key=0b536aa7-ece8-4d2c-a83a-945421bee6bf&amp;idx=0">https://hpvchemicals.oecd.org/UI/SIDS_Details.aspx?key=0b536aa7-ece8-4d2c-a83a-945421bee6bf&amp;idx=0</a>

	トルエン <a href="https://hvpchemicals.oecd.org/UI/SIDS_Details.aspx?key=21018d1e-06c8-4ebe-a2d7-22b53285fd71&amp;idx=0">https://hvpchemicals.oecd.org/UI/SIDS_Details.aspx?key=21018d1e-06c8-4ebe-a2d7-22b53285fd71&amp;idx=0</a>
NITE-CHRIP (NITE化学物質総合情報提供システム)	<a href="https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput">https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput</a>
政府によるGHS分類結果	p-オクチルフェノール <a href="https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/21-mhlw-2081.html">https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/21-mhlw-2081.html</a> トルエン <a href="https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/12-mhlw-2003.html">https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/12-mhlw-2003.html</a>

## 11. 法規制情報／GHS分類情報・ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION／GHS CLASSIFICATION AND LABELLING INFORMATION)

### 法規制情報

適用法令	規制状況
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(リスクアセスメント対象) [2026年3月31日まで]表示対象物(トルエン) 通知対象物(トルエン 0.3%) [2026年4月1日から]表示対象物質(トルエン, p-オクチルフェノール) 通知対象物質(トルエン 0.3%, p-オクチルフェノール 2.0%) :皮膚等障害化学物質(第594条の2)[2024年4月1日から](トルエン, p-オクチルフェノール) :変異原性が認められた化学物質(p-オクチルフェノール(法文名:4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール))
化審法	優先評価化学物質(p-オクチルフェノール(法文名:4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール)、トルエン)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	指定可燃物 合成樹脂類その他のもの(数量 3000kg)(製品)
労働基準法	疾病化学物質(トルエン) 女性則(トルエン)
悪臭防止法	特定悪臭物質(トルエン)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質(パラオクチルフェノール 2.0%)
水質汚濁防止法	指定物質(p-オクチルフェノール(法文名:フェノール類及びその塩類)、トルエン)
大気汚染防止法	有害大気汚染物質(優先取組物質)(トルエン)
海洋汚染防止法	海洋汚染物質(製品)
船舶安全法	危規則告示 有害性物質(製品)
港則法	危規則告示 有害性物質(製品)
航空法	告示 その他の有害物件(製品)
国連分類	9(環境有害物質を含むその他の有害性物質及び物品)

国連番号	3077
GHS 分類情報	
健康有害性	急性毒性(経皮) : 区分4 生殖毒性 : 区分1A 追加区分(授乳)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) : 区分2(毒性未知成分 約98%) 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 2(毒性未知成分 約 98%)
ラベル情報	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚に接触すると有害(H312) 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(H360) 授乳中の子に害を及ぼすおそれ(H362) 水生生物に毒性(H401) 長期継続的影響によって水生生物に毒性(H411)

## 12. 連絡先 (CONTACT INFORMATION)

会社名	株式会社レゾナック
住所	〒308-8521 茨城県筑西市小川 1500
担当部門	下館事業所 多層材料製造部 ワニス課
電話番号	0296-20-2320(担当部門) FAX番号 0296-28-6209

## 13. 発行・改訂日、その他の情報

### (DATE OF ISSUE / REVISION, ADDITIONAL INFORMATION)

発行日: 2024年10月9日

改訂:

改訂日	改訂項目	改訂箇所	版
-----	------	------	---

記載の情報は、2024年3月18日 改訂版の安全データシート(SDS)に基づいています。

## 14. 免責条項 (DISCLAIMER)

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み(GPS/JIPS: Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象品に関する安全な取扱いに関する情報を概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全データシート(SDS)や化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。本安全性要約書は、発行時点で入手可能な法令、資料、情報等のデータに基づいて、できる限り正確な記載に努めておりますが、すべてのデータを網羅したわけではありません。また、いかなる保証をするものでもありません。